



令和5年8月16日 16時00分
資料配布 近畿地方整備局
紀伊山系砂防事務所

人工衛星(だいち2号)により天然ダムの発生や土砂を捕捉した砂防堰堤を迅速に調査

～台風7号における大規模土砂災害の発生調査実施～

台風第7号により、8月14日から紀伊山系では、大雨が発生しています。このため、台風通過後の16日深夜より、人工衛星による地表観測を行い天然ダムの発生調査と土砂を捕捉し、除石が必要となった砂防堰堤がないか点検を実施します。

1. 日時

令和5年8月16日(水) 深夜に地表観測及び結果に基づく調査を開始
※衛星による観測が予定通り実施できない場合があります、延期の可能性もあります

2. 概要(※別紙参照)

- ・JAXA衛星「だいち2号」により、紀伊半島の地表のデータ(反射強度)がわずか数十秒で観測されます
- ・今回観測するデータに対して、過去の観測とのデータの変化を分析し、天然ダムの発生を確認します
- ・砂防堰堤の上流とその谷筋で、データの変化の有無を確認し、緊急に除石が必要な堰堤が存在するか点検します

3. 取材について

マスコミ関係者で取材を希望される方は、電子メール(kkr-sankei-otayori@mlit.go.jp)もしくはFAXにてご連絡下さい。

<取扱い> -----

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ、和歌山県政記者クラブ、和歌山県地方新聞記者クラブ、和歌山県政放送記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、五條市政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所

副所長(技術) 小原 雅彦(こはら まさひこ)

調査課長 岸本 優輝(きしもと ゆうき)

建設専門官 日朝 洋明(ひあさ ひろあき)

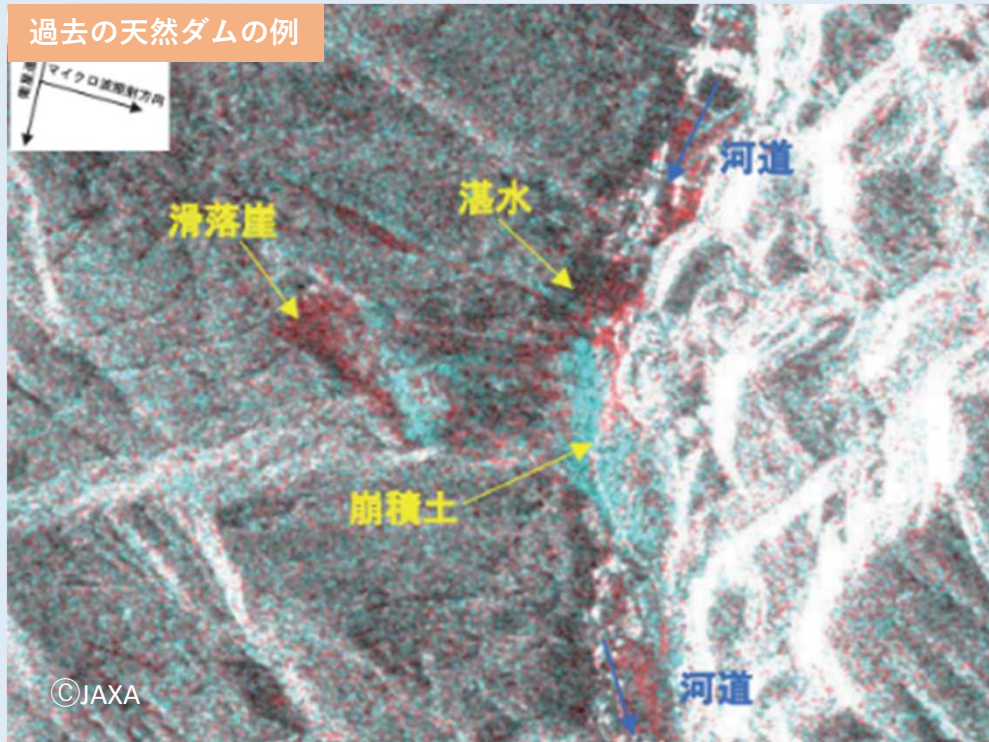
電話 0747-25-3111 (代表) FAX 0747-25-3110

人工衛星(だいち2号)による天然ダムおよび緊急に除石が必要な砂防堰堤の確認方法

天然ダムの発生の確認

【確認方法】

- 大規模土砂崩壊は、数万m²級の面積規模でのデータ変化を分析
- 天然ダムは、谷と谷に隣接した斜面でのデータ変化を分析

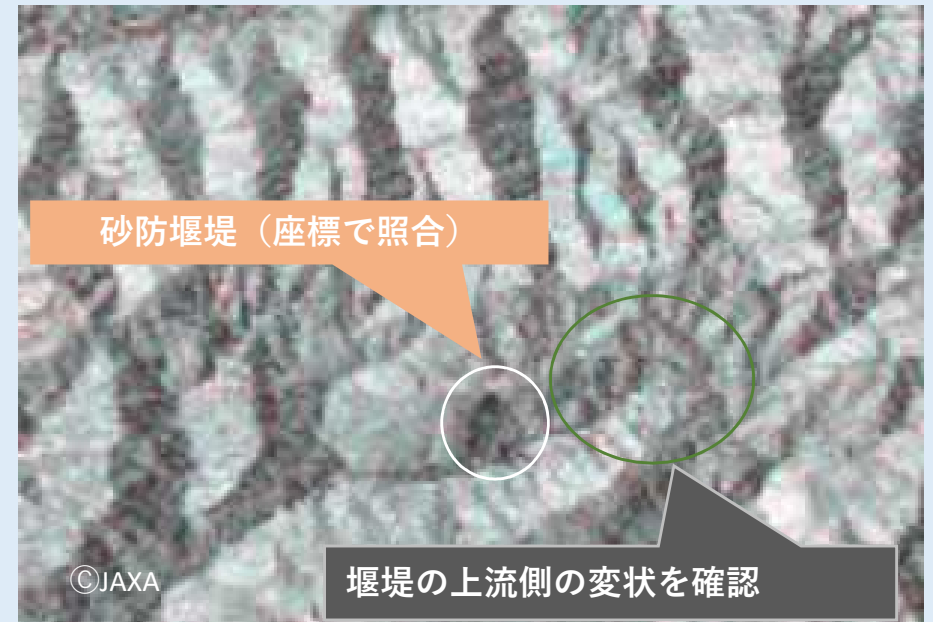


➤発生の有無を数時間で確認！

緊急に除石が必要な砂防堰堤の確認

【確認方法】

- 砂防堰堤上流とその谷筋でのデータ変化を分析
- 管内100基以上の堰堤を対象に、発生の有無を確認



➤変状の有無を数時間で確認！

※今年6月に発生した台風2号に伴う降雨時にも、翌日に同様の調査を紀伊半島において実施し、天然ダムの発生の恐れがないこと等を短時間で確認しています。